



さいと

第115号

令和6年2月1日発行

市議会だより



令和6年西都市消防出初式(1月7日、山角橋下河川敷公園)



令和6年西都市20歳を祝う会(1月5日、西都市民会館)



西都地区安全・安心フェスタ(1月6日、あいそめ広場)



児湯広域森林組合本所事務所竣工式(12月20日、三納平郡)

●12月定例会の概要●

令和5年第4回定例会は11月30日に招集。12月19日までの会期で市長提出議案41件、議員提出議案2件、報告案件1件について審議を行いました。採決の結果、市長提出議案についてはいずれも原案可決としました。議員提出議案についてもいずれも原案可決にしました。

主な掲載内容

- ◎一般質問 …P2~5
- ◎議案審議結果 …P6
- ◎委員会審査概要等 …P7~8
- ◎議会 Q & A …P8

ホームページ
はこちらから↓



西都市議会
ホームページ

西都市議会 検索

マチイロ
ダウンロードは
こちらから↓



さいと市議会だよりを
アプリで配信中!

プレミアム付商品券・HPVワクチンと包括的性教育について

すみれの会 森 祐子



動画はこちらから↓



問① 西都市プレミアム付商品券(紙・デジタル)について
イ デジタル商品券を導入してみたいの所感と、デジタルの場合データが活用可能と思うが、今後の活用について伺う。
答 事務手続きの簡略化は大きなメリット。普及や経費がかかることが課題。購入世代別の利用店舗業種ごとの分析などが可能となるため、先行自治体の事例を参考にし有効活用を図りたい。
問② HPVワクチンについて
イ HPVワクチンとは。
答 子宮頸がんの発生に関わるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を予防するワクチンである。
問③ 過去に接種勧奨差し控えになり、現在は積極的勧奨が再開されたが専門家の認識はどうなっているのか伺う。

学校分収造林基金と道の駅について

政友会 荒川 敏満



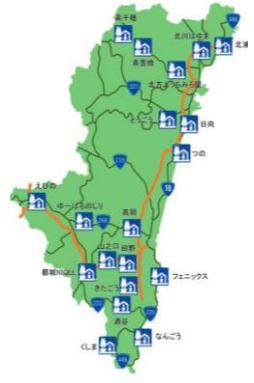
動画はこちらから↓



問① 西都中開校後、各中学校の跡地利用はどのようなになるのか伺いたい。
答 中学校再編計画において、当該学校跡地の地域性等を考慮した上で活用案を示していく。
問② 各学校が保有する学校分収造林基金で、閉校行事と記念碑建立はできないか伺いたい。
答 閉校行事には、基金の使用は可能だが、記念碑建立に関しては、地域との相談の上、前向きに検討する。
問③ 各中学校の基金は、当該地区の小学校に合算するのか、西都中に移管するのか伺いたい。
答 現在検討中である。
問④ 現在の医療センターの運営状況・運営体制について伺いたい。
答 常勤医が3名、大学からの非常勤医の派遣には変更はなく、外来診療及び夜間急病センターの運営は維持している。
問⑤ 新病院建設についての考えを伺いたい。
答 児湯郡町村会から「医療センターの充実・整備について」の要望を受けているので、医療センターとともに鋭意取り組んでいきたい。
問⑥ 家庭血圧測定による健康寿命の延伸について、本市でも血圧計を無料貸与して、大阪府能勢町のようない事業はできないものか伺いたい。
答 今後、調査を行い、実施可能か研究してまいりたい。
問⑦ 今後の道の駅建設について考えを伺いたい。
答 昨今の道の駅の盛況をみると施設の有益性を認識しているが、西都原ガイダンスセンター「このはな館」の改修による施設機能の充実を図っていく。

宮崎県内の道の駅

- 1 「道の駅」高岡
- 2 「道の駅」北川はゆま
- 3 「道の駅」青雲橋
- 4 「道の駅」山之口
- 5 「道の駅」北浦
- 6 「道の駅」田野
- 7 「道の駅」湊谷
- 8 「道の駅」とうごう
- 9 「道の駅」都城NIQLL
- 10 「道の駅」ゆーばるのじり
- 11 「道の駅」なんごう
- 12 「道の駅」日向
- 13 「道の駅」高千穂
- 14 「道の駅」フェニックス
- 15 「道の駅」つゆ
- 16 「道の駅」えびの
- 17 「道の駅」北方よつちみろ屋
- 18 「道の駅」くしま
- 19 「道の駅」きたごう
- 20 「道の駅」



国に採択基準の見直しを求め、桜川樋門に排水ポンプの設置を

日本共産党 狩野 保夫



動画はこちらから↓

問① 橋田市長が濱砂前理事長に對して行った「解任処分は違法行為」との一審判決が確定した。濱砂前理事長に直接「謝罪」をすべきではないか。最低でも「謝罪の意」を伝えるべきではないか。

答 謝罪を行うことも、謝罪の意を伝えることも考えていない。

問② 台風豪雨災害対策について

イ 堀之内川樋門の整備計画の進捗状況は。

答 令和5年度に発注し、令和6年度中の完成が見込まれている。

ロ 桜川樋門の改修計画の進捗状況は。

答 現在、概略設計中(樋門ゲート改修)であり、令和6年度中に詳細設計が実施される予定である。

ハ 桜川樋門に排水ポンプが設置されないのは「採択基準」の要件を満たしていないからである。桜川の上流域と下流域を含めるなら可能ではないかと考える。国に採択基準の見直しを求めるべきではないか。

交通安全対策と西都原ガイダンスセンターのはな館改修について

公明党 浦田 明子



動画はこちらから↓

問① 西都原ガイダンスセンターのはな館改修工事について

イ ガイダンスセンターのはな館の改修目的について伺う。

答 本市観光の拠点施設として平成15年に建設され、築20年が経過し、近年では経年劣化等による、施設や外構等の維持管理経理費がかさむ現状、改修工事を行い、事業内容の見直し、改善及びこのはな館の機能を高め、更なる観光誘客を目指していく。

ロ 改修工事に係る費用を伺う。

答 国の交付金を活用し、係る費用については、基本計画策定時には約3億円であったが、建設資材費や人件費の高騰により、総額3億6429万5千円の予算になる。

ハ 今後の改修工事予定を伺う。

答 令和6年4月1日より業務を一旦停止、工事着手し令和7年2月までに工事完了予定。また、令和6年4月以降の物販に関しては、このはな館指定管理者の観光協会にて検討

中とのことである。会員の皆様に寄り添った対応をしていただくようお願いをしている。

問② 市民の交通安全対策について

イ 自転車のヘルメット着用が努力義務になった事を市民や職員への啓発はされているのか伺う。

答 5月の自転車マナーアップ強化月間時にチラシを全戸配布している。小中高生に対しては各学校で行われる警察官による自転車教室で啓発している。職員に対してはWEB掲示板にて、市民に啓発したチラシを掲載して啓発しているところである。

ロ 中学校通学ヘルメットは、自己負担なのか助成金はあるのか伺う。

答 中学校通学ヘルメットは自己負担であり助成等は行っていない。

ハ ヘルメット購入の助成金について伺う。

答 西都市では助成等は行っていない。県内においても助成等を行っている市町村は無い状況である。

問③ 食品・エネルギー等の物価高騰対策について伺う。

答 重点支援地方交付金におきまして、効果的な支援策を速やかに立案し、いち早く市民の皆様に表示せるよう取り組んでいく。

商業・観光、スポーツランド、教育の取り組みについて

新緑会 橋口 登志郎



動画はこちらから↓



問① このはな館改修のタイムスケジュール、目的について伺う。

答 令和6年4月から業務を停止し、令和7年3月には再開したい。改修目的の一つ「着地型観光創出拠点」二つ「新たな地域産品の企画開発拠点」三つ「観光を担う人材開発拠点」として充実させることである。

問② 休館中での物販、食品販売等の為、仮設販売所は観光客のためにも必要と思うが、考えを伺う。

答 貴重な意見である。観光協会と納入業者との調整により仮設販売所を設置になれば、観光協会と連携し、前向きに対応したい。

問③ 創業希望者と空き店舗のマッチング等の取組みについて伺う。

答 まちづくり西都KOKOKARAに設けたワンストップ創業、事業承継相談窓口において、きめ細かい対応をしていただいでいる。実績も着実に上がっている。今後も各方面の情報収集を行い、連携を取り活性化に取り組んでいく。

問④ スポーツランドの取組みについて、市長の思いを伺う。

答 スポーツイベント、キャンプ、合宿等の誘致により、交流人口を増やし、活性化につながる。本市の農産物を提供することで農業振興など、あらゆる面で経済効果がある、強く推し進めていきたい。

問⑤ 妻高校生が西都市の各種行事に積極的に参加し活躍しているが、市長の見解を伺う。

答 まちの活性化の点からも大変うれしく感じている。小中学校での「さいと学」や妻高校での「妻みらい塾」などの影響が多いと考える。本年度から「探究活動充実事業」として補助金を支給し、未来を支える若い力が育つように継続的に支援を行っていききたい。

問⑥ 教育長のダイバーシティ、外国語教育、グローバルを実現に導く教育について伺う。

答 急速に変化する社会を主体的に生き抜くため、グローバルな視点とローカルな視点を兼ね備えたグローバルな人事育成を目指したい。外国語は宮崎国際大学との連携、英検への取組みにくわえ、小中学校から様々な文化に触れる異文化交流、姉妹都市羅東鎮との交流を積極的に行いたい。それらの取組みを通し多様な価値観を共有する考えを身につけさせたい。

農地の地域計画、西都商跡地整備、食の拠点候補地について

令和の会 黒木 吉彦



動画はこちらから↓



問① 国は、農業基盤強化促進法の改正により、将来的に担い手に農地を集積・集約するための地域計画の作成を求め、地域農業を守ることが狙いである。そこで計画の概要と策定期限を伺いたい。

答 今後の人と農地の問題を解決するため、地域で話し合い、10年後に誰がどのように農地を使って農業を進めていくのか将来の農地利用を示した目標地図を作成し、農業の担い手が耕作しやすい環境に変えていくものである。また、策定期限は、令和7年3月末となっている。

問② 農地集積・集約に対する農業委員会の取組みと、その成果と課題について伺いたい。

答 取組みについては、農地のあわせんによる所有権移転、農地バンクを活用した賃貸借権の設定を推進している。課題としては、今後高齢化や担い手不足が予想され、面積集約による規模拡大や、新規参入の促進に

より農地の集積・集約をいかに進めるかが課題である。

問③ 目標地図の作成について行政はどのようなサポートを行うのか伺いたい。

答 地域農業の将来の在り方を検討する地区割案の提供、幅広い関係者への参加の呼びかけなど行う。

問④ 西都商業高校跡地の整備について具体的な整備計画は(株)日南から説明を受けているのか伺いたい。

答 会社側と定期的な情報交換は行っているが、具体的な計画の公表を行うまでには至っていない。

問⑤ 施設整備に向けて市長の見解を伺いたい。

答 今回の計画に挙げられた施設は市の活性化にとって必要不可欠な施設であることから、早期の計画実現に向けて積極的に支援していききたい。

問⑥ 食の拠点候補地について、事業を凍結して、7年以上経過するが未だ利活用が出来ていない。利活用について現状と見通しを伺いたい。

答 食の拠点施設建設予定地有効活用検討委員会において、公共施設等の候補地として管理していくことを当面の方針として決定している。

立地適正化計画・新西都中学校・神楽文化・森林経営について

新風創生会 米良 弥



動画はこちらから↓



問① 西都市立地適正化計画策定の目的と内容について伺う。

答 目的は、人口減少下においても、医療、福祉、商業等の必要な生活サービスが確保され、市民が安心して暮らせる西都市を創ることである。そのため、市中心部に生活サービス機能と居住を緩やかに集約・誘導することで一定の人口密度を確保し、中心部の都市拠点と支所周辺の地域生活拠点を公共交通ネットワークで結ぶことにより、持続可能な都市づくりに取り組む。

問② 中心部や地域生活拠点に居住を誘導することで、周辺地域の人口減少に拍車をかけ、集落崩壊につながることはないのか伺う。

答 移住者や市内外への転出希望者を対象に、計画期間の20年間で緩やかに誘導するものである。集落を拠点に生活できる人はその地域の担い手としてそのまま頑張ってもらい、生活に不安を持たれる方は中心部や地域生活拠点に誘導し、西都市内で安心して暮らせる都市づくり

を行っていく。

問③ 西都中学校開校後の各小中学校と地域との連携について伺う。

答 中学校再編後はすべての小中学校がコミュニティスクールとなり、各地域から推薦された委員等で構成する学校運営協議会の設置やコーディネーターの配置により、地域との連携を図り、地域とともにある学校づくりを進める。

問④ 神楽文化の継承・保存と関西圏における活用策について伺う。

答 令和5年3月に「米良の神楽」として国の重要文化財の指定を受けた。保存会や関係団体と情報交換しながら継承・保存の取り組みを支援していく。関西圏における魅力発信については、市単独では困難であるので国、県、関係自治体と連携して取り組んでいく。

問⑤ 市内の森林伐採面積、植林面積及び再造林の支援策について伺う。

答 令和4年度までの3年間の伐採面積は288ヘクタール、植林面積は139ヘクタールである。民有林の再造林については本年度より最大90%を補助することで促進する。国有林は3年以内の再造林を計画的に進めている。

市民参画による「公民連携で進めるまちづくり」について

結の会 吉岐 秀光



動画はこちらから↓



問① 高病原性鳥インフルエンザウイルスへの対策や対応を伺う。

答 養鶏農家に対しては消毒薬・消石灰の配布、職員には防疫研修を計画。

問② 県内13のJA合併に対する市長の考えを伺う。

答 県域JAには経営基盤の強化や農業者の営農安定などを期待。

問③ 障害者(児)基幹相談支援センターにあげられている相談件数を伺う。

答 令和5年度の実績(10月末現在)は808件。

問④ 障がい者のスポーツ支援や交流の場づくりに対する課題意識や考えを伺う。

答 今後、障がい者が参画できる環境づくりを研究する。

問⑤ 高齢者・障がい者・子どもに対する虐待の相談件数を伺う。

答 令和5年度(11月末現在)は、高齢者に対する虐待9件、障がい者に対する虐待3件、子どもに対する虐待17件。

問⑥ ランチミーティング(第一回目)を妻中にて実施)を通じ、市長の所感や見解を伺う。

答 生徒目線による市政への素直な思いを受け止め、大変参考になり有意義な機会であった。

問⑦ 茶臼原小学校が小規模特認校に指定された。特認校制度の概要などを伺う。

答 豊かな自然環境のもと少人数での教育の良さを生かし、特色ある教育活動を推進し、市内全域から就学を認める制度であり、小規模校の活性化と複式学級の解消を図ることも目的の一つ。

問⑧ 放課後児童クラブ運営の現状と課題を伺う。

答 主な喫緊の課題は、不規則な時間帯の運営、支援員不足である。

問⑨ 子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)に対する市の見解や施策などを伺う。

答 ワクチン接種の積極的な検討を促し、早期発見・治療のため定期的な検診の受診を勧め、罹患率の低下や死亡者数の減少に努める。

問⑩ 厳しい財務状況の医療センター。職員の処遇や待遇に影響はでていないか伺う。

答 理事長の冬季賞与を全額不支給、職員の賞与は前年比0.2月分の減額とのことである。

問⑪ 令和7年1月(約1年後)の市長選挙について、市長の考えを伺う。

答 今優先すべきことは、残任期間の中で私が掲げた政策の実現に向けて丁寧な全力で取り組むことである。

■第4回定例会(11月30日~12月19日)で審議された議案の審議結果

【市長提出議案】

番号	議案名	審議結果	
第120号	西都中学校スクールバス運営基金条例の制定について	原案可決	全会一致
第121号	西都市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決	賛成多数
第122号	西都市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	賛成多数
第123号	西都市市民広場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第124号	西都市土地改良歴史資料館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第125号	西都市空家等対策の推進に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第126号	西都市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第127号	西都市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第128号	西都市子育て支援基金条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第129号	西都市地域福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第130号	西都市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第131号	西都市火災予防条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第132号	令和5年度西都市一般会計予算補正(第6号)について	原案可決	賛成多数
第133号	令和5年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第3号)について	原案可決	全会一致
第134号	令和5年度西都市営住宅事業特別会計予算補正(第3号)について	原案可決	全会一致
第135号	令和5年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第3号)について	原案可決	全会一致
第136号	令和5年度西都児童湯障害認定審査会特別会計予算補正(第2号)について	原案可決	全会一致
第137号	令和5年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正(第2号)について	原案可決	全会一致
第138号	令和5年度西都市水道事業会計予算補正(第2号)について	原案可決	全会一致
第139号	令和5年度西都市簡易水道事業会計予算補正(第2号)について	原案可決	全会一致
第140号	令和5年度西都市公共下水道事業会計予算補正(第2号)について	原案可決	全会一致
第141号	令和5年度西都市農業集落排水事業会計予算補正(第2号)について	原案可決	全会一致
第142号	令和5年度西都市一般会計予算補正(第7号)について	原案可決	全会一致
第143号	令和5年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第4号)について	原案可決	全会一致
第144号	令和5年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第4号)について	原案可決	全会一致
第145号	令和5年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正(第3号)について	原案可決	全会一致
第146号	令和5年度西都市簡易水道事業会計予算補正(第3号)について	原案可決	全会一致
第147号	地区体育館の指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
第148号	地区体育館の指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
第149号	上三財地区健康増進施設の指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
第150号	西都市民弓道場の指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
第151号	西都市土地改良歴史資料館の指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
第152号	西都市学習等供用施設の指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
第153号	西都市立診療所の指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
第154号	西都市地域福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
第155号	西都市老人福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
第156号	西都市児童館の指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
第157号	銀鏡伝承館の指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
第158号	令和5年度西都市一般会計予算補正(第8号)について	原案可決	全会一致
第159号	西都市手数料条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第160号	令和5年度西都市一般会計予算補正(第9号)について	原案可決	賛成多数

【議員提出議案】

番号	議案名	審議結果	
第6号	西都市議会委員会条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第7号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致

賛否の分かれた議案等の表決一覧

番号	件名	議員名(左から議席番号順)														審議結果	
		太田寛文	森祐子	老岐秀光	浦田明子	村上修乗	米良弥	橋口登志郎	田爪淑子	荒川敏満	黒木吉彦	中武邦美	井上久昭	井上久昭	狩野保夫		岩切一夫
第121号	西都市職員の給与に関する条例等の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第122号	西都市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について		○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第132号	令和5年度西都市一般会計予算補正(第6号)について	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第160号	令和5年度西都市一般会計予算補正(第9号)について		○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※議長のため表決に参加しない

○:賛成 ●:反対

12月定例会
各委員会審査報告

委員長報告全文はホームページでご覧ください。



総務委員会審査概要

◎付託議案件数 6件

◎議案審議結果

議案第122号については賛成多数、その他の議案について、全会一致をもって原案可決

◎審査の過程で出た意見・要望等
ふるさと納税に関して、寄付額の進捗状況は順調であるとのこと。その取り組みを高く評価したい。引き続き目標を達成出来るよう鋭意取り組んでいただきたい。

文教厚生委員会審査概要

◎付託議案件数 20件

◎議案審議結果

議案第120号、125号、127号、128号、142号、153号、156号、158号については、賛成討論がなされ、採決の結果、すべての議案について全会一致をもって原案可決

◎審査の過程で出た意見・要望等
スクールバスの安全かつ安定的な運営のために必要な原資が継続的に確保されるよう当該交付金確保に努めていただきたい。

産業建設委員会審査概要

◎付託議案件数 5件

◎議案審議結果

全ての議案について、全会一致をもって原案可決

◎審査の過程で出た意見・要望等
西都原ガイダンスセンターこのはな館再整備事業について、国のデジタル田園(でんえん)都市国家構想交付金を活用し整備することには賛成であるが、多くの市民の皆さまから相談や不安の声が寄せられている。事業を進めるにあたってはこのはな館の現就労者の方、物産出品の方、このはな館運営委員会、指定管理者の一般社団法人西都市観光協会の方々と、皆さまが納得いくまで協議していただきたい。また、改修期間が1年近くに及ぶため、改修されない駐車場の一部に仮設の販売所を設けたり、東屋(あずまや)を利用してのお弁当の販売やキッチンカーを配備して景観と軽食を楽しんでもらうことなど、閉館中に市外や県外からおいでいただいたお客様へのおもてなしについて検討していただきたい。

総務委員会
行政調査報告

総務委員会では、令和5年5月30日から6月1日にかけて宮城県多賀城市・岩沼市に行政調査を行った。
【ICTの利活用に関する取組について】調査先 宮城県多賀城市
加賀城市では、ICT利活用が今後の行政運営に関わる喫緊の課題ととらえ、2021年に多賀城市ICT利活用方針を策定し、併せてICT推進本部を設置し、ICT利活用の取組を積極的に推進している。その中でも、特に住民のデジタルデバイドの解消策として、対面型教室を開き、自治会、町内会、老人クラブ連合会、地域包括センター等と、民間企業と連携の上、スマートフォンの利用・活用の講習会を実施しているのが印象的だった。

【災害復興状況及び防災・減災の取組について】調査先 宮城県岩沼市
岩沼市は、東日本大震災以降、「震災復興計画グランドデザイン」「震災復興計画マスタープラン」を策定し、復興の完了を目指し取り組んでいる。また防災・減災訓練の重要性の発信や、災害に備え、岩沼市役所北側には貯水量40トンを貯蓄出来る地上露出型の緊急飲料水備蓄タンクが設置するなど、被災から復興までの経験を生かし防災・減災の取組を進めており、大変参考になった。

文教厚生委員会
行政調査報告

文教厚生委員会では、令和5年10月10日から12日にかけて岡山県備前市・和歌山県紀の川市に行政調査を行った。
11日・12日、2日間に渡り、岡山県備前市、和歌山県紀の川市に調査に行き、「子ども医療費」と「給食費」に関して、両市とも無償化、助成事業に取り組んでいた。

備前市では、子ども医療費助成については、医療費自己負担額が入院・通院ともに、18歳まで原則 無料となっていた。また、学校給食費については、給食費だけでなく、学用品についても無償化が実施されていた。
紀の川市では、子ども医療費助成については、全国でも類を見ない、令和5年8月から24歳(学生)まで拡充していた。



このように、今回の行政調査においても、本市においても、少子化対策・定住促進を少しでも推し進める施策として、両市のように思い切った事業がかなりの重要なものだと考えさせられた。

産業建設委員会 行政調査報告

産業建設委員会では、令和5年11月6日から11月8日まで兵庫県の豊岡市と三田市行政調査を行った。豊岡市では、有機米作り「コウノトリ育む農法の取り組みについて」の調査を行った。コウノトリ農法の最大の目的は、絶滅したコウノトリを復活させる為に、一番変えなければいけなかったのが「農業」とのこと。「豊岡グッドローカル農業」を策定し持続可能な農業にしていく、自然と折り合いをつけながら、環境、経済、社会のバランスを重視する農業を学んだ。



次に、三田市では、「移住・定住促進の取り組みについて」調査を行った。人口減少にも負けない元気なまちを創出とのこと、交通アクセスの利便性、子育て・環境の良さ、人の温かさ、企業との連携をPRすることが、三田市での強みだと感じた。西都市の強みも大いにアピールしながら、行政調査で学んだことを活用して行く必要があると感じた。

新田原基地対策調査 特別委員会活動報告

新田原基地対策調査特別委員会では、10月5日・6日防衛省および地元国会議員に対し要望を行った。新田原基地の安全運航対策及び騒音対策に対する補償拡充、住宅防音事業の待機者の解消などの要望に加え、今年度は建築業・防音工事協力会の現場の声を踏まえ、実態に即した形での住宅防音工事の諸対策を講じてもらう要望を行った。防衛省からは、物価変動を加味し補助限度額の引き上げを行ったとの回答が得られた。



さらに当委員会では今後F-35Bの配備計画を踏まえ、基地強化政策に関する迅速かつ丁寧な情報提供と地域住民の安全安心を中心とした配慮を賜るように引き続き要望していく。

可決された 意見書



厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

(提出先)
衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・厚生労働大臣・内閣官房長官

議会Q&A

委員会とは何ですか？

委員会には大きく「常任委員会」「議会運営委員会」「特別委員会」の3つがあります。西都市議会では、「常任委員会」は総務委員会、文教厚生委員会、産業建設委員会の3つが設置されています。市議会で扱う議案は数が多い内容も幅広いため、委員会毎に詳しく審査を行い、それぞれの分野について話し合います。「議会運営委員会」とは議会の運営について、特に開会前の重要な流れを話し合います。「特別委員会」とは特定の重要な事項を集中的に話し合います。このように市議会では目的に応じてさまざまな会議が行われています。

編集後記

市議会では、昨年12月1日に2つの議員連盟を発足しました。一つは、日本と台湾の友好親善及び交流の促進を図ることを目的とする「西都市議会日台友好議員連盟」と、もう一つは、我が国の平和と発展に貢献することを目的とする「西都市議会防衛議員連盟」を発足しました。特に日台友好議員連盟は、これを機に、本市は台湾・宜蘭縣(いらんけん)と羅東鎮(らとうちん)と姉妹都市盟約締結を行っているため、更なる友好親善、交流促進を図る活動を進めていきたいと思えます。市民の皆様のご理解を宜しくお祈りします。

今年辰年。天高くのぼる竜に守られ、景気が良くなると言われています。令和6年が皆様にとって、輝かしい一年になりますよう、皆様のご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

能登半島地震で被災された皆様へ心よりお見舞いを申し上げます。

この度の令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに被災された全ての方々に衷心よりお見舞い申し上げます。また、被災地における救助・復旧活動などにご尽力されている方々に深く敬意を表します。

被災地の皆さまの安全確保と被災された皆様の生活が一日も早く平穏に復することを祈り申し上げます。

— 議会報編集委員会 —